
全国高等専門学校

第23回プログラミングコンテスト

本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月7日(金)締切および10月5日(金)締切で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第23回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第23回プログラミングコンテスト
本選実施要項(参加要項)

1.大会全般についての連絡事項(各部門共通).....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員.....	1
1.2 事務局.....	1
1.3 参加者.....	2
1.4 審査委員.....	2
1.5 会場案内.....	3
1.6 日程.....	4
1.7 提出書類等.....	5
[1] 9月7日(金) 締切分	
[2] 10月5日(金) 締切分	
[3] 受付時提出書類	
1.8 知的所有権について.....	7
1.9 表彰について.....	7
1.10 学生交流企画について.....	7
1.11 会場使用上の注意点について.....	8
1.12 宿舎・昼食・指導教員等情報交換会および会場への交通.....	8
1.13 問い合わせ先.....	9
1.14 著作物等の扱いについて.....	9
1.15 その他の注意事項.....	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項.....	10
2.1 システムの搬入・搬出について.....	10
2.2 プレゼンテーションについて.....	10
2.3 デモンストレーションについて.....	11
2.4 本選審査手順について.....	12
3. 競技部門についての連絡事項.....	14
3.1 組み合わせ.....	14
3.2 競技進行の概要.....	14
3.3 競技部門の賞.....	14
3.4 予行演習.....	14
3.5 注意事項.....	14
3.6 質問受付.....	15
付録1 会場案内図	
付録2 交通案内	
付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法	
付録6 デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル	
付録7 競技組み合わせ	
同意書	1 通
システム等の調書	2 通
課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例	1 通
課題・自由部門 操作マニュアル表紙例	1 通
競技部門 プログラムソースリスト表紙例	1 通

1.大会全般についての連絡事項(各部門共通)

1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

後 援 文部科学省，福岡県，福岡県教育委員会，熊本県，熊本県教育委員会，大牟田市，大牟田市教育委員会，荒尾市，荒尾市教育委員会，大牟田商工会議所，荒尾商工会議所，一般社団法人コンピュータソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，教育システム情報学会，独立行政法人情報通信研究機構，NHK，有明広域産業技術振興会，有明工業高等専門学校後援会，有明工業高等専門学校同窓会

特別協賛 エグジットチューンズ(株)、東芝ソリューション(株)、(株)インテリジェントウェイブ、さくらインターネット(株)、(株)トヨタコミュニケーションシステム、日本マイクロソフト(株)、ネクストウェア(株)、富士通(株)、(株)ブロードリーフ

一般協賛 アイフォーコム(株)、(株)オプティム、セイコーエプソン(株)、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、東京エレクトロン ソフトウェア・テクノロジーズ(株)、(株)トラストシステム、日本電気(株)、(株)BCN、弥生(株)、(株)ワコム

大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長

赤坂 裕 (鹿児島工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

荒金 善裕 (東京都立産業技術高等専門学校校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

神野 稔 (近畿大学工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

京兼 純 (明石工業高等専門学校長)

副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長

堀内 征治 (長野市教育長・長野工業高等専門学校名誉教授)

副会長 第24回大会次期主管校校長

高橋 英明 (旭川工業高等専門学校長)

副会長 第23回大会主管校校長

立居場 光生 (有明工業高等専門学校長)

1.2 事務局

事務局 有明工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 21 チーム
- 自由部門 20 チーム
- 競技部門 58 チーム
- NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 参加海外チーム 3ヶ国 3チーム
ハノイ国家大学(ベトナム) 競技部門 1 チーム
成都東軟学院(中国) 競技部門 1 チーム
モンゴル科学技術大学(モンゴル) 競技部門 1 チーム

1.4 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー

審査委員(予定)

入倉 進 (株)ブロードリーフ 事業本部 執行役員 副本部長

臼井 支朗 理化学研究所 脳科学総合研究センター ニューロインフォマティクス技術
開発チーム チームリーダー/神経情報基盤センター長

梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報工学系 教授

大岩 元 相愛大学 音楽マネジメント学科 IT 音楽産業コース 教授

木下 博行 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 シニアディレクター

実重 明信 NHK 放送センター 放送技術局 メディア技術センター クロスメディア部
部長

杉田 泰則 長岡技術科学大学 電気系 助教

前川 徹 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事

松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 シミュレーション科学研究センター センタ
ー長/教授

宮地 力 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部 副主任研究員

森 良哉 東芝ソリューション(株) IT 技術研究所 技監

山岡 美之 ネクストウェア(株) 専務取締役

山本 祥之 (株)インテリジェントウェイブ 代表取締役社長

吉田 育代 フリーランスライター

鷺北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所 所長

久保 慎一 ネクストウェア(株)

津曲 潮 (株)デザイン・クリエイション

(五十音順)

1.5 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図または公式サイトをご覧ください。

1.開会式・閉会式会場	大ホール
2.課題部門プレゼン会場	3階 第1・第2 研修室
3.自由部門プレゼン会場	3階 第4 会議室
4.課題部門・自由部門デモ会場	小ホール
5.競技部門会場	大ホール
6.プロコン委員会本部	2階 第3 会議室
7.選手・指導教員控室	大ホール客席
8.審査委員室	2階 第2 会議室
9.企業展示会場	大ホール ホワイエ
10.主管校事務局	2階 音楽室
11.報道関係者控室	大ホール 第4 楽屋
12.来賓控室	2階 第1 会議室, 大ホール 第3 楽屋
13.主管校教職員控室	2階 和研修室
14.海外チーム控室	1階 練習室
15.協賛企業等控室	大ホール 第1 楽屋
16.総合受付	圏民ロビー
17.主管校同時開催イベント	2階 展示室

1.6 日程

10月12日(金) 参加者受付

17:00～19:00 大牟田文化会館 1階圏民ロビーで受付を行います。
(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

※ 引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

※ 提出物については、「1.7 提出書類 [3] 受付時提出書類」をご覧ください。

10月13日(土)

- やむを得ず前日に受付ができなかった参加チームの引率教員は、会場で受付を済ませてください。
- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.13 問い合わせ先」参照)に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
7:00	8:00～ 8:30 参加者当日受付 (圏民ロビー)	
8:00	8:30～ 8:40 参加者連絡会議 (小ホール)	8:40～ 9:00 参加者連絡会議 (大ホール)
9:00	8:40～ 9:15 システム搬入チェック	
	9:30～10:00 開会式 (大ホール)	
10:00	10:10～17:00 プレゼンテーション審査 (課題部門: 3階 第1・第2研修室) (自由部門: 3階 第4会議室)	10:10～13:00 予行演習 (大ホール)
11:00		
12:00		
13:00	10:10～10:40 システムセッティング (小ホール) 10:40～17:00 デモンストレーション 一般公開 (小ホール)	14:00～17:30 1回戦 (大ホール)
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00	17:30～18:00 学生交流企画(大ホール)	
19:00	18:00～20:00 指導教員等情報交換会(オームタガーデンホテル)	

10月14日(日)

	課題・自由部門	競技部門
8:00	8:00～ 8:10 参加者連絡会議 (小ホール) 8:10～ 8:40 システムセッティング 8:40～12:00 デモンストレーション審査・マニ ュアル審査 9:00～14:00 デモンストレーション 一般公開 (小ホール)	8:00～ 8:20 参加者連絡会議 (大ホール) 8:30～14:00 敗者復活戦 準々決勝 準決勝 決勝 (大ホール)
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 ミニ講演会(大ホール)	
15:00	15:00～16:30 閉会式(大ホール)	

1.7 提出書類等

[1] 9月7日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成24年9月3日(月)から9月7日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配布するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項および見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願ひします。

(2) システム等の調書

システム等の調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については公式サイトでお知らせします。

[2] 10月5日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、平成24年10月1日(月)から10月5日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) プログラムソースリスト表紙および操作マニュアル表紙

- 表紙は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

【競技部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

(2) システム詳細説明書

- 審査用に使用します
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- 登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

[3] 受付時提出書類

課題・自由部門および競技部門の本選参加チームは、10月12日(金)の受付時に、次の1種類の書類を提出してください。

提出されない場合には本選に参加できないことがありますので十分に注意してください。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.14 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員および学生が署名し、受付時に提出してください。

(2) 緊急連絡先調書(各チーム1通)

- 調書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)をご記入ください。
- この書類は第23回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

1.8 知的所有権について

作品の制作および発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。従来の例では、

- キャラクタの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的所有権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者、および競技部門入賞チームの各代表2名は、14時15分までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- 本大会と同時にNAPROCK国際プログラミングコンテスト(<http://www.naprock.jp/IntProcon/>)を開催します。海外からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。
競技部門 国際優勝 国際準優勝 国際特別賞

1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、学生交流イベントを行う予定です。詳細については、別途ご案内いたします。

1.11 会場使用上の注意点について

付録 1 に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 大ホールおよび小ホールの客席・ホワイエでの飲食は禁止です。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場，デモンストレーション会場，競技会場，開・閉会式会場では，必ず携帯電話等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

1.12 宿舎・昼食・指導教員等情報交換会および会場への交通

- 宿舎についての申込み期日は，9 月 21 日(金)です。オンライン申し込みシステム (<https://apollon.nta.co.jp/procon2012/>)にて申込み下さい。オンライン申し込みシステムについては，予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申し込み方法が記載されておりますので，ご参照下さい。なお，参加登録・昼食・指導教員等情報交換会の事前申し込みがまだのチームは速やかに登録してください。

宿舎

学生および引率教員の宿舎は大牟田市・荒尾市および周辺のホテルを予定しています。宿泊希望者数が予定数を超えた場合には，近隣のホテルになることがあります。

昼食

事前に予約された昼食は，受付時に「弁当引換券」を学校毎に配布します。なお，大ホール・小ホールおよび各ホワイエでの飲食は禁止です。

指導教員等情報交換会

10 月 13 日(土)の 18:00~20:00，大会会場(大牟田文化会館)から徒歩約 15 分(大牟田駅から路線バス 4 分 160 円，電車 2 分 150 円)に位置する「オームタガーデンホテル」(大牟田市旭町 3-3-3 TEL0944-51-1111)において指導教員等情報交換会を開催いたします。参加費用は一人 5,000 円です。

参加者受付

本選前日(10 月 12 日(金))は，「1.6 日程」で説明したように，17:00~19:00 の時間に参加者受付を行います。大牟田駅から大会会場までの経路は，「付録 2 交通案内」をご覧ください。所要時間は徒歩 5 分程度です。

会場への交通

JR 九州・西鉄電車・西鉄バスをご利用の場合
大牟田駅前(東口,JR 側)より徒歩 5 分

これらの件に関するお問い合わせは，下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

株式会社 日本旅行 西日本イベントコンベンション支店
「第 23 回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト」大会デスク
(担当: 中井・浦田)
〒530-8341 大阪市北区芝田 2-4-24 JR 西日本本社ビル 1F
TEL: 06-6376-6450 FAX: 06-6376-6465
営業時間: 月~金 9:30~17:30 土日祝日は休業

1.13 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

問い合わせ先

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町 150

有明工業高等専門学校 プロコン委員会事務局 学生課学生支援係

TEL: 0944-53-8861 FAX: 0944-53-8862 E-mail: jim23@procon.gr.jp

1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介, 応募内容ファイル)および9月7日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨, システム概要), 10月5日(金)締切で提出していただく資料(操作マニュアル, システム詳細説明書), および競技部門の解答データは, コンテスト終了後, 公式サイトで公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーションおよびデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオおよびプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中, コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開, およびプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様態・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り, 記録ビデオを撮影・編集し, CD/DVD 等で配布するとともに公式サイトで公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は, 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。

1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材がある場合は, 明るく活発な高専のイメージが出るよう, ご協力をお願いします。
- 本コンテストは, 協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方, 主管校の教職員や学生等, 多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は, 感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは, 学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、すでにご案内した通りです。参加校の最寄りのヤマト運輸の営業所から連絡があり、見積りを依頼できますので、各校の実状に合わせてください。時期は、9月下旬～10月初旬の予定です。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に梱包識別票を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月13日(土)の朝までにデモンストレーション会場(大牟田文化会館小ホール)に搬入されます。参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月13日(土)の8:40よりデモンストレーション会場で行ってください。
- 搬出については、10月14日(日)の14:00～14:30の間にシステムを梱包の上、梱包識別票を貼付して、業者に引き渡してください。
- 梱包識別票は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

2.2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 接続可能なコネクタは「ミニ D-SUB15pin」です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続および操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月5日(木)付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意のうえ遅れないように準備してください。

プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

システム搬入チェック【10月13日(土) 8:40~9:15】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

システムセッティング【10月13日(土) 10:10~10:40, 10月14日(日) 8:10~8:40】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅180cm、奥行150cm、高さ220cmの範囲内にセッティングしてください。なお、机は幅150cm、奥行は60cm(机1台)または120cm(机2台)です(標準は机1台としますが、システム等の調書で0~2台を選択することができます)。
- 掲示用パネルは幅180cm程度、高さ200cm程度、厚さ4.3cm程度の会場設備の衝立パネルを用意します。画紙は使用してもかまいませんが、主催者では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。セロテープ等粘着性のあるものおよびネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。なお、会場の都合により、背中合わせのブースでは、違うチームが同じ展示用パネルの両面を使うことがありますので、ご了承ください。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、基本的に机の下に置いてください。納めきれない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも1口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、ブースあたりの合計容量は約500Wです。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用(対外接続100Mbpsのベストエフォート)のLANケーブルを1本用意します。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

デモンストレーション一般公開【10月13日(土) 10:40~17:00, 10月14日(日) 9:00~14:00】

デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。
- 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。
- 昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
- 情報交換の場として、積極的に利用してください。

デモンストレーション審査【10月14日(日) 8:40~12:00】

- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
- 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。

- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。

マニュアル審査【10月14日(日) 8:40~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。

デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

システムの搬出【10月14日(日) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談のうえ参加者の責任で依頼してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

2.4 本選審査手順について

I.各審査委員における評定

1.プレゼンテーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重要), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。

2.デモンストレーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重要), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表掲示, 完成度等を総合して評価します。

3.マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ5段階, 3段階の評価をします。

正確性: A : マニュアルどおりに動作する。

A' : マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。

B : 一部マニュアルどおりに動作しない。

B' : マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。

C : マニュアルとして不備が目立つ。

記述力: A, B, C の3段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1.評定一覧表の作成

一覧表に, 各審査委員からの評定(A, B, C等)を入力します。

2.点数換算集計表の作成

プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。

A=6, B=3, C=1 ; 各部門, 審査委員の評定を合計します。

マニュアルの審査評定は下記のように換算します。

正確性に関しては、 $A=7$ 、 $A'=5$ 、 $B=3$ 、 $B'=2$ 、 $C=1$

記述力に関しては、 $A=3$ 、 $B=2$ 、 $C=1$

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。

3.成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし、順位を算出します。

4.選考の順序

以下の順序に従い、審査委員会で審議・合議の上、判断します。

(i)最優秀賞，優秀賞

得点のみの情報を提示し、上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに、上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞)，優秀賞を決定する(新增沢方式)。

(ii)特別賞

(i)で最優秀，優秀に選ばれなかったチームから，課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考する。

(iii)佳作

佳作に該当する作品があるかどうか，審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <http://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

1 回戦の組合せは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組合せ」の通りです。

3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦 10 試合、敗者復活戦 7 試合、準々決勝 6 試合、準決勝 2 試合、決勝 1 試合により行います。
- 予行演習・1 回戦は 10 月 13 日(土)、敗者復活戦・準々決勝・準決勝・決勝は 10 月 14 日(日)に行います。

3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- 応募書類、提出書類および競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チームを含めた決勝戦での順位により決定します。

3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10 月 13 日(土) 10:10~13:00
会場: 競技会場(大ホール)

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 13 日 8:40~, 競技会場)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

3.5 注意事項

- 付録 7 の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大 6 チームです。予行演習も最大 6 チームとなります。
- 準々決勝からは国際大会となり、海外チームが参加します。1 回戦には海外チームがオープン参加することがありますが、国内チームの準々決勝進出には関係ありません。
- 各ブースには、電源コンセントを少なくとも 1 口(ブースあたり最大 150W 程度)用意します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

3.6 質問受付

プロコン公式サイト(<http://www.procon.gr.jp/>)から参照できる第23回大会のサイトには、8月16日現在、次の情報が公開されています。

- 部門のご案内「競技部門」
- FAQ「競技部門」

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、9月7日(金)17:00まで質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

問い合わせメールアドレス： jimu23@procon.gr.jp

- 問い合わせの際は、必ず指導教員を介して行って下さい。その際には、教員の所属(高専名、所属学科など)と名前を、必ず明記してください。所属や名前が記載されていない場合は、回答できないこともあります。
- 質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開します。
- 締め切り後に届いた質問に関しては回答できません。

会場利用計画

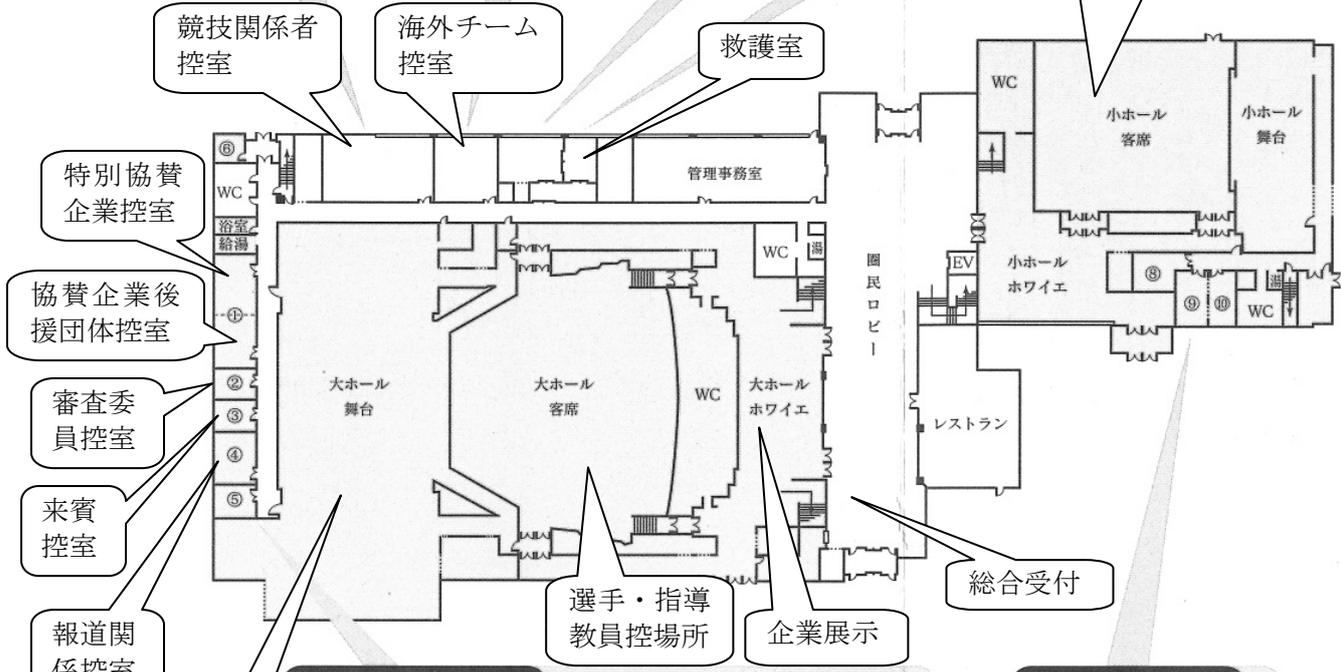
大牟田文化会館

1F
平面図

リハーサル室 洋室 93㎡ 定員 40名 板張 パレエ用手すり付 ピアノ (有料) 土足禁止です	練習室 洋室 53㎡ 定員 24名 板張 パレエ用手すり付 ピアノ (有料) 土足禁止です	第1和室 和室 17.5畳 定員 18名 水屋付	第2和室 和室 10畳 定員 12名
共有スペースあり			

駐車場 120台収容

課題・自由部門
デモ会場



大ホール関係施設

①第1楽屋 洋室 72㎡ 定員 40名 仕切りあり	③第3楽屋 洋室 20㎡ 定員 8名	⑥楽屋事務室 洋室 17㎡
②第2楽屋 洋室 20㎡ 定員 5名 バス・トイレ付	④第4楽屋 和室 10畳 定員 16名	⑦主催者事務室 洋室 31㎡ チケット売場付
	⑤第5楽屋 和室 8畳 定員 11名	

小ホール関係施設

⑧第6楽屋 和室 8畳 定員 11名
⑨第7楽屋 洋室 23㎡ 定員 8名
⑩第8楽屋 洋室 24㎡ 定員 8名

開閉会式
競技会場

総合受付

選手・指導
教員控場所

企業展示

来賓
控室

審査委
員控室

協賛企業後
援団体控室

特別協賛
企業控室

競技関係者
控室

海外チーム
控室

救護室

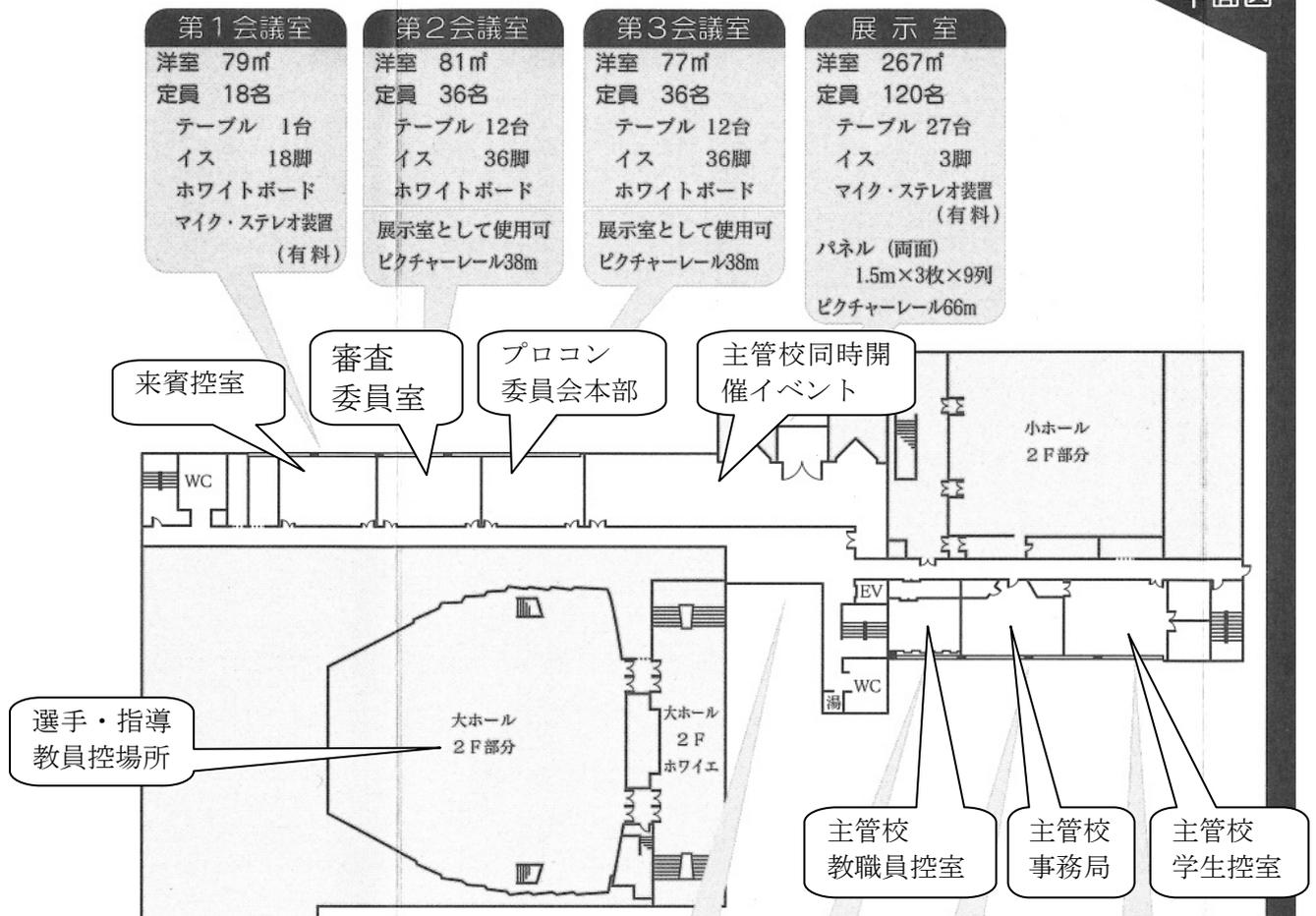
管理事務室

レストラン

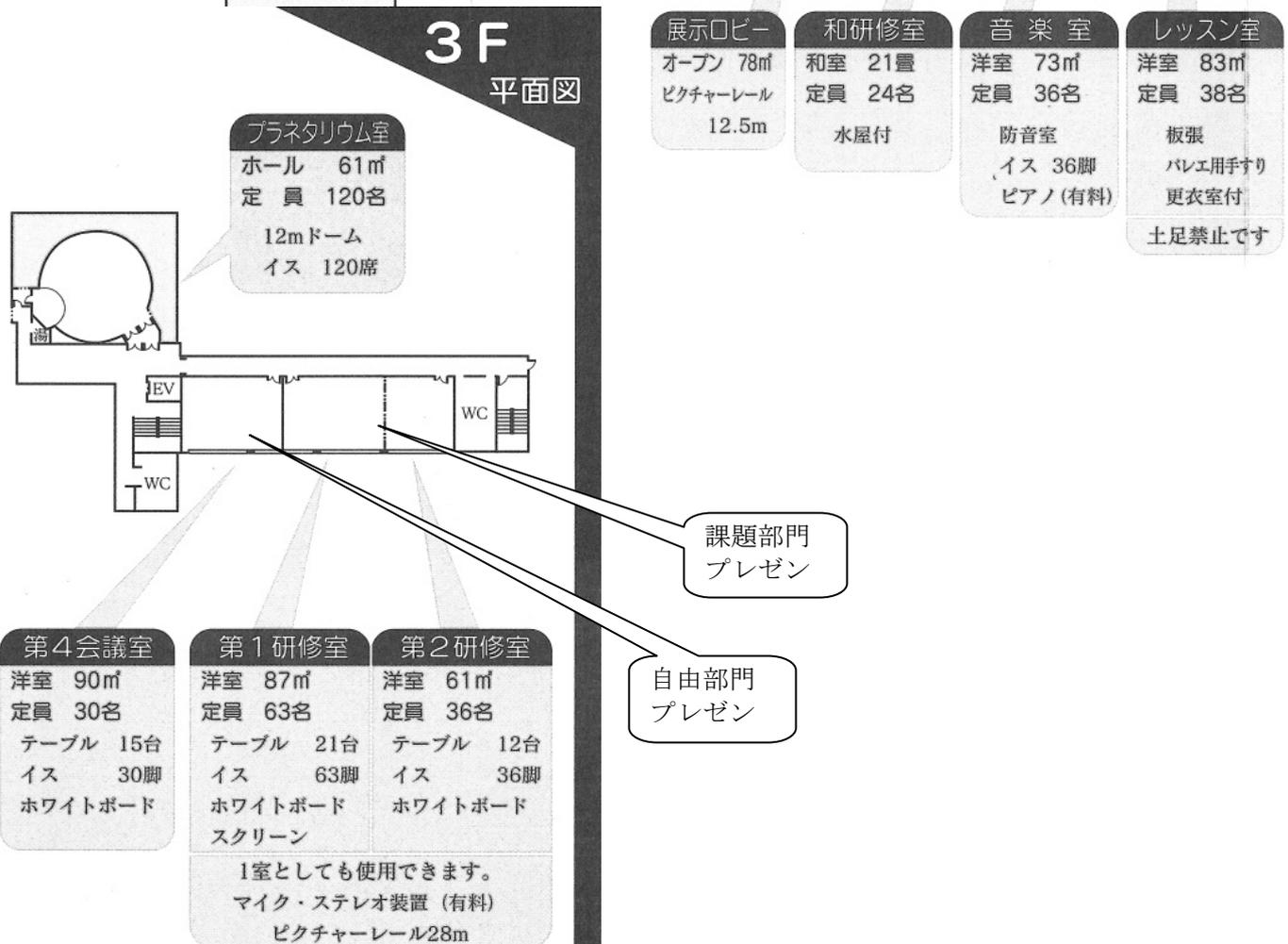
国民ロビー

WC

2F 平面図



3F 平面図



交通案内

大牟田文化会館

〒836-0843 福岡県大牟田市不知火町 2-10-2

Tel. 0944-55-3131

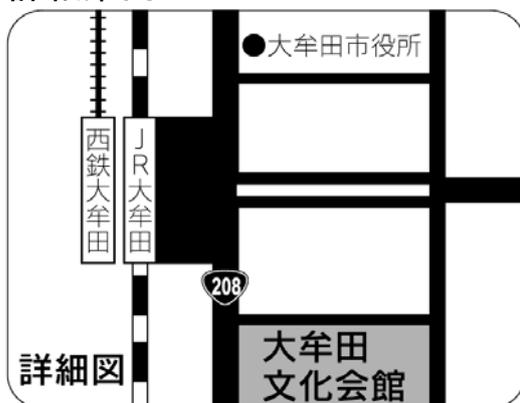
Web <http://www.omuta-bunka-kaikan.or.jp/>

大牟田駅前(東口, JR 側)より徒歩 5 分

広域案内

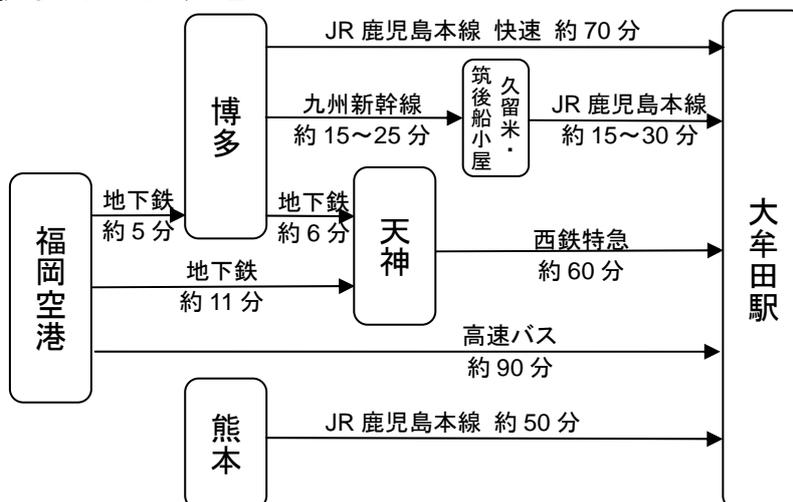


詳細案内



- ※ 駐車場が限られています。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- ※ 借上げバス等でお越しになる場合は、事前に主管校事務局 jimu23@procon.gr.jp までご相談ください。

大牟田駅までのアクセス



課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月13日(土)10:10～16:24
 会場 第1・第2研修室
 発表持ち時間 発表時間8分、質疑応答4分、交代1分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	ShinBunet	沖縄
2	10:23 ～ 10:35	クマートフォン	香川(高松)
3	10:36 ～ 10:48	えこりん —小規模地域向けソーシャル・ネットワーク・サービス—	熊本(熊本)
4	10:49 ～ 11:01	ピアレンツ —仲間と楽しむ子育てライフ—	舞鶴

11:01 ～ 11:09 休憩8分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	楽コミ —お年寄りと家族を結ぶ次世代インターフェース—	高知
6	11:22 ～ 11:34	ジョインバ —ピースをつなげる、世代をつなぐ—	有明
7	11:35 ～ 11:47	おどりリンク —おどりでつながる地域の環—	鳥羽商船
8	11:48 ～ 12:00	ふぁみねく —思いで作りで深まるきずな—	松江

12:00 ～ 13:20 休憩80分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:20 ～ 13:32	healTeeth —歯みがきで輝く未来—	弓削商船
10	13:33 ～ 13:45	S' Location —スマート・バリア・ロケーション—	旭川
11	13:46 ～ 13:58	MIRCOM —鏡でコミュニケーション—	鈴鹿
12	13:59 ～ 14:11	かけるんです！！	久留米

14:11 ～ 14:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:20 ～ 14:32	MY PLANNING MAP —理想の街づくり—	大島商船
14	14:33 ～ 14:45	さんQしよく —”Q”から正す食生活—	苫小牧
15	14:46 ～ 14:58	The Kinetics Gate	一関
16	14:59 ～ 15:11	ぜんかばくンマーケット —レシピでつながるコミュニティー—	奈良

15:11 ～ 15:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:20 ～ 15:32	Live部屋	広島商船
18	15:33 ～ 15:45	ComBo —地域活性化のための電子回覧板—	東京
19	15:46 ～ 15:58	ロウニャクコンジャク —AR古地図システム—	徳山
20	15:59 ～ 16:11	てれびじょん —ボタンひとつで簡単！コミュニケーションツール—	熊本(八代)
21	16:12 ～ 16:24	Care+ —きになる雰囲気センサーで擬人化！—	石川

プレゼンテーション審査終了

自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月13日(土)10:10～16:11
 会場 第4会議室
 発表持ち時間 発表時間8分、質疑応答4分、交代1分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	May —Making Angels Yock! —	福島
2	10:23 ～ 10:35	みんなのそろばん	長野
3	10:36 ～ 10:48	Top Balancer	香川(詫間)
4	10:49 ～ 11:01	アイロンM@STER —アイロンビーズ製作支援システム—	米子

11:01 ～ 11:09 休憩8分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	niconicoE. B. (β) —英語多読教育支援システム—	長岡
6	11:22 ～ 11:34	TERAKOYA —Future 教室を新たなステージへ—	長野
7	11:35 ～ 11:47	Femto —ストレスフリーのファイル管理術—	弓削商船
8	11:48 ～ 12:00	車格付機 —Let's 情報化車界! —	久留米

12:00 ～ 13:20 休憩80分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:20 ～ 13:32	てるてる —スカイ&フィールドリポーター—	香川(高松)
10	13:33 ～ 13:45	GOMIDAS —ゴミデータ取得システム—	舞鶴
11	13:46 ～ 13:58	Copiluno? —コピー防止プログラミング学習システム—	熊本(八代)
12	13:59 ～ 14:11	どんぶりこ —安全かつスリリングな川下りをあなたに—	鈴鹿

14:11 ～ 14:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:20 ～ 14:32	Sound*Canvas	八戸
14	14:33 ～ 14:45	E-Motion —スマホ・キ넥トで動く! ロボットアーム—	都立(荒川)
15	14:46 ～ 14:58	次世代鬼ごっこ スマホに	阿南
16	14:59 ～ 15:11	ずっくま —しゃべるズック始めました—	松江

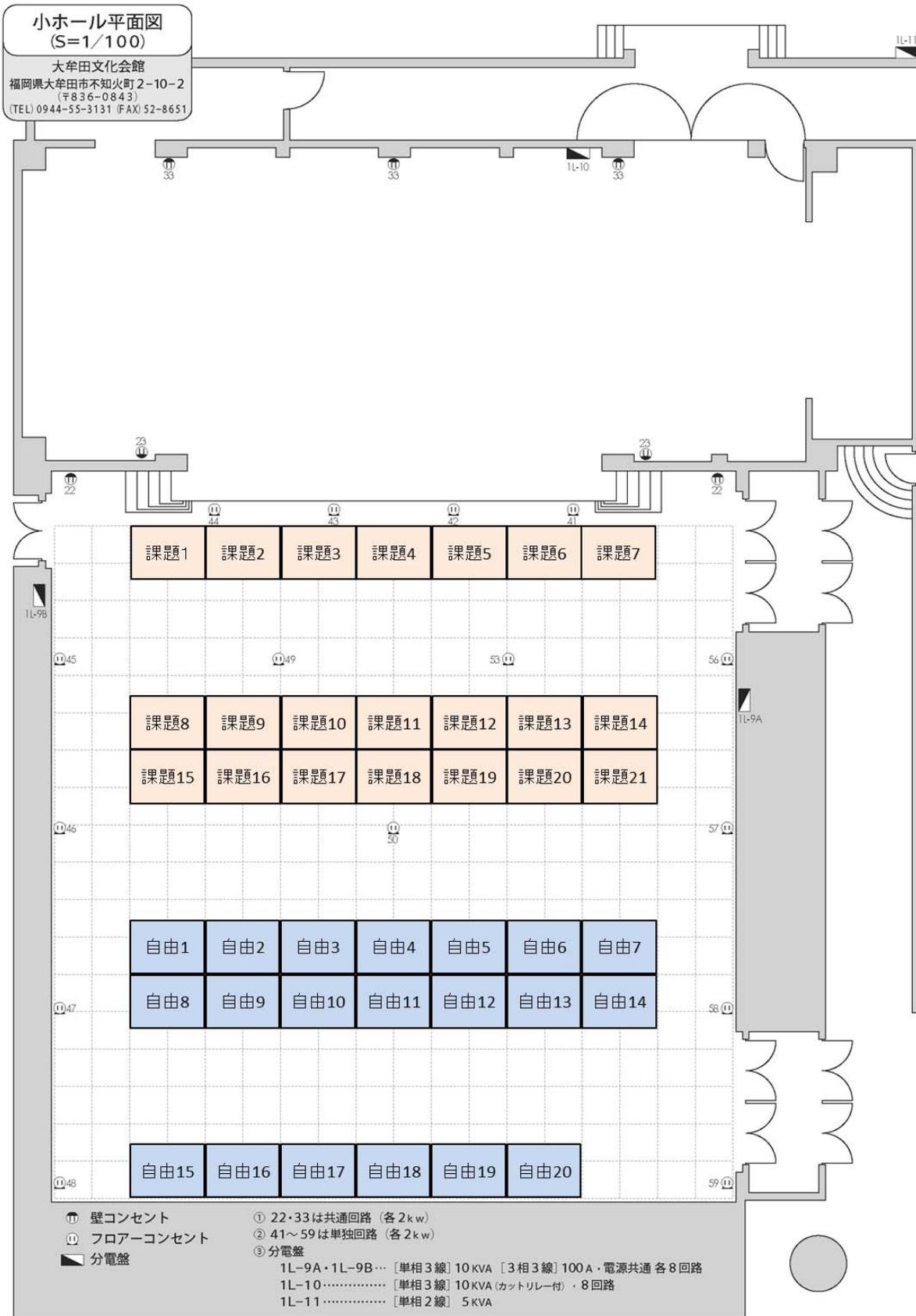
15:11 ～ 15:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:20 ～ 15:32	Real House Planetarium	金沢
18	15:33 ～ 15:45	Snatcher	熊本(熊本)
19	15:46 ～ 15:58	かしこん!!	沖縄
20	15:59 ～ 16:11	plugica —もっと気軽にコンセント—	津山

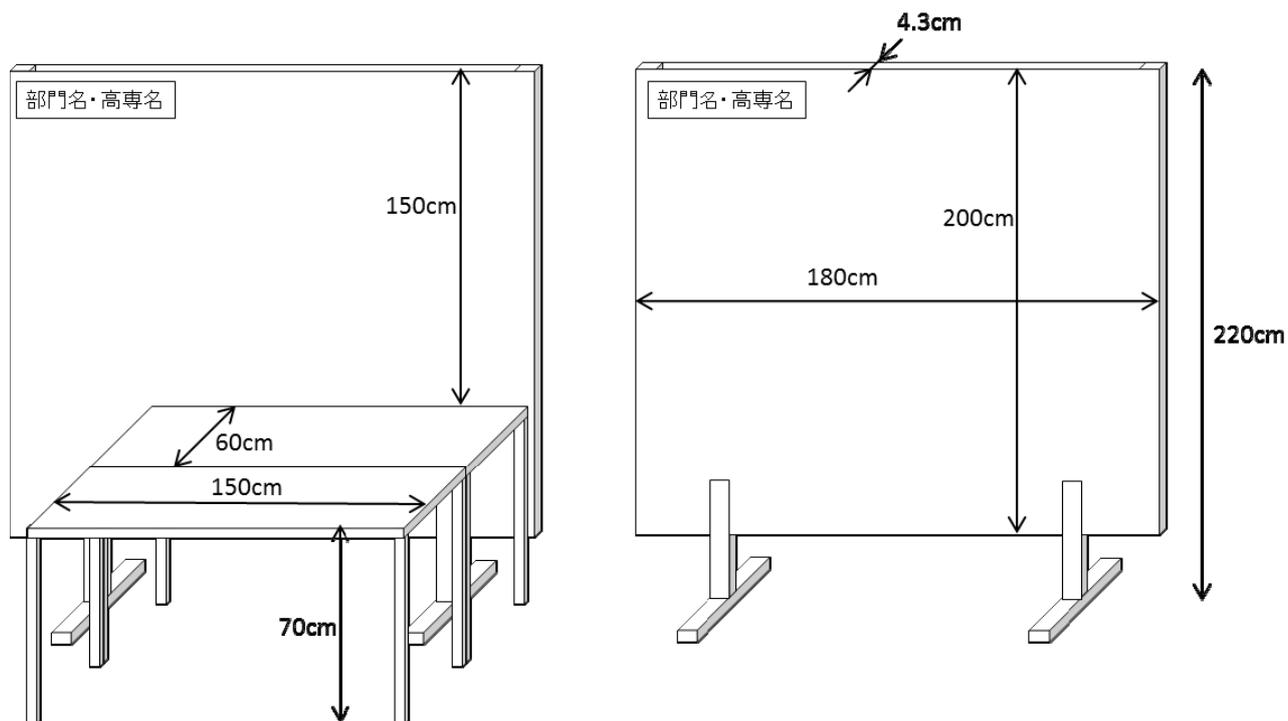
プレゼンテーション審査終了

ブースの配置と展示スペースの概略寸法

●ブースの配置(小ホール)



●課題・自由部門 展示スペースの概略寸法



注意事項

- ・ 各ブースは幅 180cm, 奥行き 150cm, 高さ 220cm です。
- ・ 掲示用パネルは幅 180cm, 高さ 200cm(床から 20cm), 厚さ 4.3cm のものを使用します。
- ・ 幅 150cm, 奥行き 60cm, 高さ 70cm の机を 0~2 台使用できます。机を使用する場合, 掲示用パネルの掲示可能領域の高さは 150cm となります。(会場の都合で机 1 台を標準とします)
- ・ コンセントおよび LAN ケーブルは、机の下に敷設する予定です。

第23回プログラミングコンテスト

課題部門 ・ 自由部門

デモンストレーション審査&マニュアル審査 タイムテーブル

審査日時 10月14日(日) 8:40～11:32
 会場 課題部門:小ホール、自由部門:小ホール
 審査時間 7分(説明2分、質疑応答5分、移動を含む)

審査時間	課題部門			自由部門		
	A班	B班	C班	D班	E班	F班
8:40 ～ 8:47	1	12	6	1	12	6
8:47 ～ 8:54	2	13	7	2	13	7
8:54 ～ 9:01	3	14	8	3	14	8
9:01 ～ 9:08	4	15	9	4	15	9
9:08 ～ 9:15	5	16	10	5	16	10
9:15 ～ 9:22	6	17	11	6	17	11
9:22 ～ 9:29	7	18	12	7	18	12
9:29 ～ 9:36	8	19	13	8	19	13
9:36 ～ 9:43	9	20	14	9	20	14
9:43 ～ 9:50	10	21	15	10	1	15
9:50 ～ 10:15	休憩時間 (25分)					
10:15 ～ 10:22	11	1	16	11	2	16
10:22 ～ 10:29	12	2	17	12	3	17
10:29 ～ 10:36	13	3	18	13	4	18
10:36 ～ 10:43	14	4	19	14	5	19
10:43 ～ 10:50	15	5	20	15	6	20
10:50 ～ 10:57	16	6	21	16	7	1
10:57 ～ 11:04	17	7	1	17	8	2
11:04 ～ 11:11	18	8	2	18	9	3
11:11 ～ 11:18	19	9	3	19	10	4
11:18 ～ 11:25	20	10	4	20	11	5
11:25 ～ 11:32	21	11	5			

注意事項

- ① A班、B班、D班、E班はデモンストレーション審査
C班、F班はマニュアル審査を示す。
- ② 1 ～ 21 はプレゼンテーション審査の発表番号の作品を示す。

付録7 競技組合せ

1回戦 各試合上位2チームが準々決勝へ進出する。3位以下は敗者復活戦へ。(海外チームはオープン参加)

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	
1	高知	大分	沼津	香川(詫間)	沖縄	
2	都立産技(品川)	釧路	豊田	阿南	熊本(八代)	
3	久留米	鶴岡	松江	仙台(名取)	サレジオ	
4	八戸	仙台(広瀬)	群馬	新居浜	長岡	
5	近畿大学	福島	秋田	木更津	明石	
6	有明	小山	都立産技(荒川)	呉	北九州	
ブース	第6試合	第7試合	第8試合	第9試合	第10試合	第11試合
1	大阪府大	米子	舞鶴	弓削商船	津山	ハノイ国家大学
2	東京	鈴鹿	石川	岐阜	鳥羽商船	モンゴル科学技術大学
3	長野	都城	一関	神戸市立	富山(射水)	成都東軟学院
4	和歌山	熊本(熊本)	鹿児島	茨城	香川(高松)	空き
5	佐世保	福井	奈良	徳山	大島商船	空き
6	宇部	旭川	広島商船	空き	空き	空き

敗者復活戦 各試合上位2チームが準々決勝へ進出する。(第7試合は上位1チーム)

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合	第7試合
1	1-1-3	1-2-3	1-3-3	1-4-3	1-5-3	1-6-3	1-7-3
2	1-8-3	1-9-3	1-10-3	1-1-4	1-2-4	1-3-4	1-4-4
3	1-5-4	1-6-4	1-7-4	1-8-4	1-9-4	1-10-4	1-1-5
4	1-2-5	1-3-5	1-4-5	1-5-5	1-6-5	1-7-5	空き
5	1-8-5	1-9-5	1-10-5	1-1-6	1-2-6	1-3-6	空き
6	1-4-6	1-5-6	1-6-6	1-7-6	1-8-6	空き	空き

準々決勝 各試合上位2チームが準決勝へ進出する。

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
1	1-1-1	1-2-1	1-3-1	1-4-1	1-5-1	1-6-1
2	1-7-1	1-8-1	1-9-1	1-10-1	1-1-2	1-2-2
3	1-3-2	1-4-2	1-5-2	1-6-2	1-7-2	1-8-2
4	1-9-2	1-10-2	C-1-1	C-2-1	C-3-1	C-4-1
5	C-5-1	C-6-1	C-7-1	C-1-2	C-2-2	C-3-2
6	C-4-2	C-5-2	C-6-2	モンゴル科学技術大学	ハノイ国家大学	成都東軟学院

準決勝 各試合上位3チームが決勝へ進出する。

ブース	第1試合	第2試合
1	Q-1-1	Q-2-1
2	Q-3-1	Q-4-1
3	Q-5-1	Q-6-1
4	Q-1-2	Q-2-2
5	Q-3-2	Q-4-2
6	Q-5-2	Q-6-2

決勝

ブース	第1試合
1	S-1-1
2	S-2-1
3	S-1-2
4	S-2-2
5	S-1-3
6	S-2-3

※ X-Y-Z は X 回戦-第 Y 試合-第 Z 位 を表します。
 ※ X 部分の1は1回戦、Cは敗者復活戦、Qは準々決勝、Sは準決勝を表します。
 ※ 準々決勝・準決勝・決勝はNAPROCK国際プロコン(国際大会)と共催です。
 ※ 1回戦の第11試合は、海外チームのエキシビションマッチとします。
 ※ 準々決勝・準決勝・決勝の海外チームは国際大会の公式エントリーです。
 日本チーム・海外チームの区別なく、試合の成績により準決勝・決勝進出や
 準決勝・決勝での順位が決まります。

同意書

プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作権物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ パンフレット原稿（発表要旨またはシステム概要）
- ・ プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ 操作マニュアル
- ・ プレゼンテーション、デモンストレーション、競技等のビデオ及び写真
- ・ 競技部門の解答データ

【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動

【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット等
- ・ プロコンのライブ配信
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2012年 月 日

高 専 名： _____ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

作品タイトル： _____

署 名（自 署）：

指導教員 _____

学 生 _____

全国高等専門学校
第 2 3 回 プログラミングコンテスト
システム等の調書

部 門 (○で囲む)	課題部門	自由部門	発表順 (登録番号)	()
タ イ ト ル				
学 校	校 名	高等専門学校		
	住 所	〒		
	電 話	() —		
指 導 教 員	学 科			
	氏 名			
シ ス テ ム	デモンストレーションのハードウェア構成 デモンストレーション時の使用電力 約_____ワット (合計 500 ワット以下にしてください。)			
そ の 他 (○で囲む)	システムセット用テーブル台数： 不要 1台 2台 インターネット接続の有無： 接続する 接続しない システム搬送： 指定業者に依頼 参加者自身で搬送 要望事項・連絡事項等：			

注意：別紙の注意事項を参照の上、記入してください。

提出期間：9月3日(月)～9月7日(金)

提出方法：オンライン登録

システム調書記入上の注意事項：

1. 課題・自由部門では、インターネット接続を以下の条件で提供します。
 - 各ブースに1ポートのUTPケーブルを提供します。
 - 主催者側では、インターネット接続を保障するものではありません。障害発生時のことも考慮に入れてシステムを構成してください。
 - HUB、ルータ等は各自で準備してください。
 - ネットワーク接続は、DHCPによるアドレス発行を行います。
2. 無線LANを使用する場合は、その概略仕様等もお知らせください。
3. テーブルや参加者用の椅子なども含めて幅180cm、奥行150cm、高さ220cmの範囲に置けるものとしてください。
4. 各ブースのテーブル（幅150cm、奥行60cm）は委員会で設置を予定しています。必要数を「その他」の欄にて○で囲んで教えてください。なお、2台設置する場合は手前に並べますので幅150cm、奥行き120cmとなります。

全国高等専門学校
第23回 プログラミングコンテスト
システム等の調書

部 門	競 技 部 門	登 録 番 号	
学 校	校 名	高等専門学校	
	住 所	〒	
	電 話	() —	
指 導 教 員	学 科		
	氏 名		
シ ス テ ム	使用機器の構成 (使用するノートパソコンの台数。特別なデバイスやLANを使用予定の場合は、その概略仕様等。)		

提出期間：9月3日(月)～9月7日(金)
提出方法：オンライン登録

部門：発表順（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：#### 高等専門学校

学生氏名： ## ##

 ## ##

 ## ##

 ## ##

 ## ##

指導教員： ## ##

部門：発表順（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：#### 高等専門学校

学生氏名： ## ##

 ## ##

 ## ##

 ## ##

 ## ##

指導教員： ## ##

